



# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,366	16.4	353	535.4	370	377.0	237	284.3
28年3月期第1四半期	4,610	15.6	55	—	77	—	61	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 230百万円 (147.8%) 28年3月期第1四半期 93百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	54.01	—
28年3月期第1四半期	13.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,533	9,651	76.2
28年3月期	13,617	9,583	70.2

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 9,570百万円 28年3月期 9,556百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,294	8.4	1,298	10.1	1,305	9.6	844	9.4	191.70
通期	26,010	9.1	3,096	16.9	3,116	16.0	2,040	15.6	463.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	5,385,600 株	28年3月期	5,385,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	982,754 株	28年3月期	982,721 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	4,402,871 株	28年3月期1Q	4,702,966 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復基調が続いたものの、一方では、中国をはじめとする新興国経済の低迷や為替動向などにより、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向が継続し、業種・業態を超えた競争の激化および人材確保が困難な状況が続く等、依然厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、「収益力強化」を中期課題として位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大および生産性の改善については、いずれも着実に成果が表れました。

その結果、売上高は3,615百万円（前年同四半期比9.5%増）、セグメント利益は242百万円（前年同四半期は700万円の損失）となりました。

#### ② 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、現地通貨ベースでは売上増加基調で推移しているものの、為替変動により減収となりました。利益面では、収益力安定に向けて鋭意努力を続けており、黒字転換いたしました。その結果、売上高は432百万円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

#### ③ リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、当社の連結子会社であるエイジススタッフサービス株式会社と当社の非連結子会社である株式会社プリズム・ジャパンが、平成28年4月1日を効力発生日として、エイジススタッフサービス株式会社を存続会社とする吸収合併を行い、同日付で商号を「エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社」に変更いたしました。この合併により、売上増加傾向で推移し、売上高は1,318百万円（前年同四半期比52.8%増）、セグメント利益は101百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

これらの結果から、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,366百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は353百万円（前年同四半期比535.4%増）、経常利益は370百万円（前年同四半期比377.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は237百万円（前年同四半期比284.3%増）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は12,553百万円（前連結会計年度比7.8%減）となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,901百万円（前連結会計年度比28.1%減）となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによる減少です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,651百万円(前連結会計年度比0.7%増)となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました「平成28年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,512,234	5,861,268
受取手形及び売掛金	3,410,634	2,329,646
貯蔵品	53,114	65,474
その他	483,407	408,907
流動資産合計	9,459,391	8,665,297
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	822,752	825,260
有形固定資産合計	2,099,147	2,101,654
無形固定資産		
471,656	471,656	470,261
投資その他の資産		
その他	1,587,993	1,316,645
貸倒引当金	△838	△698
投資その他の資産合計	1,587,155	1,315,946
固定資産合計	4,157,959	3,887,863
資産合計	13,617,351	12,553,161
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	93,393	91,960
未払金	2,066,521	1,630,516
未払法人税等	682,602	161,047
賞与引当金	393,716	203,347
役員賞与引当金	14,316	3,140
その他	695,704	722,730
流動負債合計	3,946,254	2,812,742
固定負債		
退職給付に係る負債	1,638	1,283
その他	86,303	87,713
固定負債合計	87,942	88,996
負債合計	4,034,196	2,901,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,554	505,789
利益剰余金	11,035,939	11,053,607
自己株式	△2,463,335	△2,463,508
株主資本合計	9,540,157	9,570,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,686	27,704
為替換算調整勘定	△20,036	△28,556
その他の包括利益累計額合計	16,649	△851
非支配株主持分	26,347	81,385
純資産合計	9,583,154	9,651,422
負債純資産合計	13,617,351	12,553,161

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,610,652	5,366,843
売上原価	3,515,671	3,884,813
売上総利益	1,094,980	1,482,029
販売費及び一般管理費	1,039,292	1,128,172
営業利益	55,688	353,856
営業外収益		
受取利息	1,176	1,553
受取配当金	6,564	4,576
受取賃貸料	7,048	5,145
物品売却益	5,980	4,723
その他	5,600	8,239
営業外収益合計	26,369	24,239
営業外費用		
支払利息	100	644
為替差損	—	3,938
賃貸費用	3,205	2,665
その他	1,005	—
営業外費用合計	4,311	7,249
経常利益	77,746	370,847
特別利益		
投資有価証券売却益	44,356	—
特別利益合計	44,356	—
特別損失		
固定資産除却損	103	—
特別損失合計	103	—
税金等調整前四半期純利益	121,999	370,847
法人税等	54,435	122,465
四半期純利益	67,563	248,382
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,683	10,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,880	237,812

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	67,563	248,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,457	△8,981
為替換算調整勘定	△2,911	△8,639
その他の包括利益合計	25,546	△17,621
四半期包括利益	93,110	230,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,401	220,311
非支配株主に係る四半期包括利益	5,708	10,449

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,301,619	446,405	862,628	4,610,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,459	—	2,256	15,716
計	3,315,079	446,405	864,884	4,626,369
セグメント利益又は損失(△)	△7,088	△16,542	77,853	54,222

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	54,222
セグメント間取引消去	1,465
四半期連結損益計算書の営業利益	55,688

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,615,691	432,681	1,318,470	5,366,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,066	—	33,887	53,953
計	3,635,757	432,681	1,352,357	5,420,796
セグメント利益	242,952	6,450	101,524	350,927

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	350,927
セグメント間取引消去	2,929
四半期連結損益計算書の営業利益	353,856

以上